

## 利用上の注意

### 1. 令和元年中小企業実態基本調査の結果について

令和元年中小企業実態基本調査は、調査の概要にあるとおり、平成28年経済センサス-活動調査を基とした事業所母集団データベースを基に、前述の「調査の範囲」の調査業種及び企業規模に該当する法人企業及び個人企業を母集団として、その内の約11.3万社を対象（標本）に標本調査を実施した。

### 2. 企業の産業分類の決定方法

本調査の産業分類は、日本標準産業分類に基づいている。

ただし、産業大分類I-卸売業、小売業は、卸売業と小売業に分けて調査及び集計を行った。

個々の企業の産業は、産業小分類の売上高（割合）を基に格付けした。

### 3. 集計の方法

本調査は、個々の個票を拡大推計して得られた拡大推計値（個票）を基に集計している。

推計方法の詳細は、前掲の「令和元年中小企業実態基本調査の概要」を参照。

各統計表の「計」欄は、内訳の項目と同様に、拡大推計値（個票）から集計しているため、四捨五入の影響から内訳の計と一致しない場合がある。

### 4. 記号及び注記

統計表中の記号は、以下のとおりである。

- ・ 実績（該当する企業）がない場合は、「-」を表記した。
- ・ 実績はあるが単位未満の場合は、「0」を表記した。
- ・ 個人企業または法人企業に対して調査していない項目は、「…」を表記した。
- ・ 標本数（回答企業）が少ないために表章できない分類は、「…」を表記した。
- ・ 秘匿する必要のある項目は、「x」を表記した。

単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と計が一致しない場合がある。

構成比、該当率は、小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の計と計が一致しない場合がある。

### 5. 統計表について

令和元年中小企業実態基本調査では、平成30年度決算について決算書に基づく報告をお願いした。この際、金額については、原則として消費税を含む「税込み金額」としたが、会計処理上税込みでの回答が困難な場合については、記入者負担を考慮し「税抜き金額」によりご回答いただいた。そのため、売上（収入）金額等の集計値は、「税込み金額」と「税抜き金額」が混在した結果となっている。

## 6. 転載する場合について

この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、中小企業庁「令和元年中企業実態基本調査報告書」による旨を記載すること。

## 7. 本調査についての問い合わせ先

中小企業庁事業環境部企画課調査室

〒100-8912 東京都千代田区霞が関1-3-1

TEL 03-3501-1511 (代表) 内線5241

TEL 03-3501-1764 (直通)